

令和 7 年度 第 2 回施設運営協力委員会記録

日 時：令和 8 年 3 月 11 日(水) 10:30～12:00

場 所：ネイパル北見第 1 研修室

出席者：7 委員（欠席 3 名）

福田理事長、加茂所長、熊谷社会教育主幹 計 10 名

議事

○令和 7 年度施設運営及び主催事業報告について(2 月まで)

①利用者状況について

・令和 7 年 4 月～令和 8 年 2 月までの、利用状況の説明（3 月は予想人数）。延べ宿泊利用者数は、昨年度比較 200 名の増。団体数も 5 団体の増。日帰りは 130 名ほど減。団体も 12 団体の減。全体的延べ利用者は、例年と比較すると 500 名の減、団体は 23 団体の減の状況です。全体的に利用団体数と団体人数の減少がここ数年の傾向として出ています。総体的な人数は減少傾向ですが、長期利用の団体が多かったこともあり、利用料収入は過去最高となっている（800 万円超える予想）。

②主催事業状況について（別添報告書添付）

・今年度追加事業も入れ、17 事業を実施。管理目標の参加者充足率は 117%です。前回委員の方から意見のございました、閑散期対策として 2 事業を追加。低学年事業は 40 名の参加者。春休み中の長期宿泊事業も同じく 40 名の参加があり充足率を押し上げた。オホーツク管内市町村からの参加人数分布は表を参照ください。今年度の自主事業（登山に特化した）は終了。次年度の予定はなし。第 3 四半期までの事業報告は別添参照。

③施設管理目標について

・宿泊稼働率以外はおおむねクリアしており、A 評価で推移。

④アウトリーチ事業（利用促進及び地域連携含む）について

・これまでの実施した内容については、表を参照。委員さんのご協力もあり、様々な団体から要望をいただき、地域連携についても成果がありました。引き続き積極的にかかわり、施設内外で連携を強めていきます。

⑤利用者満足度について

・全体的には、高い評価をいただいている。昨年低かった施設建物についての評価が大幅にアップした。また、食事代アップの影響により下がった項目もあった。全体的には数%の範囲内で、おおむね高い満足度になっている。

【委員からの質問、意見など】

・11 月の日帰り利用者数が昨年より 200 名位減少しているが理由はあるか？（A 委員）
→11 月末に実施したネイパル ThanksDay の日帰り利用者をカウントしていな為。
昨年は事前受付にし、日帰り利用者として反映させたが、今回は施設開放（不特定多数）という形で事業を実施。当日の日帰り来所者は約 160 名位（アンケートから）。

- ・利用料がアップすることでの、損益分岐はどうとらえているか？ **(A 委員)**
 - 損益については、利用料収入がアップしても、予算の範囲内で運営していることもあり、年度末に多少の調整行うが特に損益分岐に影響を受けない。また、翌年に消費税の支払があり、その分の資金留保金がある程度必要(約260万円)。利用料収入が少ないと、修繕費や臨時職員等の経費が捻出できないため、運営にも影響ある。
- ・主催「チャレンジドネイナル」「ボランティアセミナー」など良い事業もあるが、参加者が少ないのが残念。学びの保証という観点からも事業を継続してほしい。
 - (B 委員)**
 - 「チャ」対象が特別支援や不登校他となっていることもあり、宿泊での来所はハードルが高いと感じている。今回放課後ディサービスやフリースクールなど管内の49の団体にチラシの送付や訪問を行ったが、参加者は少ない結果となった。違うアプローチも必要かと思うので、何かアディアがあれば教えてほしい。
 - **(B 委員)** 他施設の同じような事業との連携で集客。学校も特別課程として力をいれているので、連携も検討してもよいかもしれない。
- ・建物や設備評価の満足度の低さについて、夏場の集計と言うこともあると思うが、今後夏場の対策でできることはあるか？ **(A 委員)**
 - 今年は、非常口の網戸設置や西日の部屋への遮光カーテン設置など行った。また、大研修室には大型冷風機を購入し設置など暑さ対策を実施したことで、昨年よりは改善した。現実的にはエアコンがつけられないこともあり、手を出しつくした感はある。また、状況を見ながら対策は続けていく。
- ・このアンケート項目内容(清潔さ、快適さ、利用しやすさ)では、古い建物は不利な調査ではないか？例えば、清潔さであれば、掃除が行き届いてますか？の書き方など具体的な部分の評価が必要と感じる。また、6施設を見ると「森」の満足度が高いように見受けられるが、何か違いはあるか？ **(C 委員)**
 - H8年に建築されたこともあり、建物(部屋・研修室・食堂など)や設備面(暖房や野外炊飯用の倉庫など)を見ると、非常に使い勝手の良さを感じる施設とと思います。
- ・満足度調査の利用目的として部活動があるが、どの層が多いですか？ **(D 委員)**
 - 高校の部活が多いですが、大会によっては少年団もあります。大会がらみや練習試合など、遠方の学校の宿舎としての利用が多い。
- ・**(D 委員)** 設備的には古いですが、継続して宿泊してもらおう営業活動は今後も継続してほしいと思います。
- ・食事については、以前よりいい評価と思うが、工夫などあったのか？ **(B 委員)**
 - 直営になったことで、メニュー変更や量などこちらで利用者に合わせた運営ができたことがいい結果につながった。材料の高騰で料金変更をしたが、結果としては悪くなかった。**(B 委員)** 食事は思い出の1番2番に来るので、今後も期待しております。
- ・情報提供の中の宇宙少年団の宇宙教育について教えてください **(D 委員)**
 - 宇宙ということで内容も幅が広く、天文学、物理学、生物学、自然系の体験など、様々な活動が宇宙につながるため、分野を設けず体験活動を行う団体となっている。全国組織で物品の貸出などもあり、ネイナルとしても協力連携していく所存。

○情報提供

- ・ R8 年度主催事業について
- ・ 日本宇宙少年団オホーツク分団の事務局担当について

○事務局より

- ・ 2 年間の任期が終了。R8 年の委員も引き続き依頼する予定（1 年間）。

以上